

令和6年度東御市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

東御市の気候は、内陸性気候で、年平均気温11～13℃、年間降水量は700～1,000mmと少雨であり、四季を通じて日照時間が長いといった特徴があり、また、市のほぼ中央を千曲川が東西に流れ、千曲川北側では標高差が1,500mにも及ぶ南面傾斜の扇状地が広がり、南側では標高600～850mの二つの台地、千曲川及びその支流である鹿曲川に沿った河岸段丘に大別される変化に富んだ地勢であるため、それぞれの地域の特性を活かした農業が行われています。

東御市東部地域は、市のほぼ中央を東西に流れる千曲川の北側に位置し、稲作については、1戸あたりの経営規模が零細で、傾斜地であるために小区画の圃場が多く、生産条件が不利な中で、農家の努力と工夫により生産が続けられ、米を作付けない水田について、野菜、果樹、花き等の園芸作物を中心として、地域の気候・立地条件を活かした産地化が図られていますが、近年の農業従事者の高齢化、就農者の減少及び農業所得の減少等による労働力不足が進み、調整水田等の作物によらない生産調整の割合が増加しており、生産の縮小傾向の進展、遊休荒廃地の増加等の水田農業振興上の大きな課題となっています。

東御市北御牧地域は、市のほぼ中央を東西に流れる千曲川の南側に位置しており、用水やため池の開発により稲作を中心に農業が発展してきており、強粘土質の土壌や気候条件にも恵まれ、現在は、県内でも有数の良質米産地となっています。米を作付けない水田については、野菜、花き等の園芸作物や麦、大豆、ソバを中心に「適地適作」を考慮しながら水稲以外の作付の拡大を推進していますが、水田が集中する台地部は強粘土質土壌で水捌けが悪く、水稲以外の作物の栽培には不適であるという状況から、水田で栽培できる作物が限られてしまう状況です。

東御市全体では、農業者の高齢化、農業所得の減少等による担い手不足や、市内耕作地の大部分が中山間地であり土地利用集積が困難な地域が多いこと等により、作物の集団的導入に支障があり、調整水田や自己保全管理などの作物を作付しない形態での米の生産調整の実施面積が増加しているため、水田の機能維持、農村環境保全及び農業所得の向上の面からも、作物の作付による水田農業経営の推進が課題となっています。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

米の適正生産目安値達成に向けて、産地推進品目であるブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーン等の適地適作を引き続き推進していくとともに、生産・流通コストの低減を検討します。また、海外でもニーズが増えている長野県米について、新市場開拓用米として取組みを推進し、経営安定と主食用米の適正生産を図ります。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

長野県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に基づき、高収益作物の導入・定着等を図る取組みを支援します。また、畑地化の推進にあたり、事業の周知や地区との調整など、関係機関と連携し計画の実現にむけた取組を検討します。

畑地化促進事業及び畑作物産地形成促進事業を活用した畑地化・団地化について、令和6年度では、約3.5haの畑地化を要望しており、定着した畑作物の本作化が地域の中でも進められています。令和7～8年においても、地域からの要望により支援を行っていきます。またブロックローテーションについては、地域とも協議する中で検討します。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

水持ちのよい強粘土質の土壤等により良質米産地が形成されている産地を中心に、地域ブランド米の確立等の特色ある米への取組みを推進します。また、直売のほか多様な販路の拡大、学校給食への供給と地場消費の拡大を目指します。

(2) 備蓄米

—

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

輸入飼料の高騰に苦しむ畜産農家に対し、安定的に国産の飼料を供給するため、特別な栽培技術が必要なく比較的取り組みやすい品目であるため、米の生産調整のための誘導品目の一つとして、複数年契約と生産拡大の取り組みを推進します。

また、①温湯消毒、②微生物農薬（タフロック又はエコホップ）による種子消毒、③土壤診断を活用した高度施肥管理、④堆肥（市内の畜産農家が生産するもの）の利用、⑤疎植栽培（株間22cm以上、10a当たり苗箱16～18枚）を取り入れ、生産性の向上を図り、生産の拡大を図っていきます。

イ 米粉用米

米の生産調整のための誘導品目の一つとして、取り組み向上を目指します。

ウ 新市場開拓用米

国内の主食用米の需給ギャップを補い、目安値に沿った適正生産を実現するため、当地域の意欲ある事業者によって取り組まれている新市場開拓用米について、取組農家を増やすなど、更なる生産拡大を図るとともに生産性・品質向上を図ります。

エ WCS用稲

WCS用稲については、現在、自給農家に取り組んでいますが、全体的に取組が少ないことが課題であり、米の生産調整のための誘導品目の一つとして、取り組み向上を目指します。また、①温湯消毒、②微生物農薬（タフロック又はエコホップ）による種子消毒、③土壤診断を活用した高度施肥管理、④堆肥（市内の畜産農家が生産するもの）の利用を取り入れ、生産性の向上を図り、生産の拡大を図ります。

オ 加工用米

当市（特に北御牧地域）の水田が集中する台地部は強粘土質土壤で水捌けが悪く、水田での水稻以外の作物の栽培には不向きな水田が多いことから、JAとの連携のもと、生産の拡大を目指します。また、①温湯消毒、②微生物農薬（タフロック又はエコホップ）による種子消毒、③土壤診断を活用した高度施肥管理、④堆肥（市内の畜産農家が生産するもの）の利用、⑤疎植栽培（株間22cm以上、10a当たり苗箱16～18枚）を取り入れ、生産性の向上を図り、生産の拡大を図ります。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦は、品質分析、品質評価に基づいた栽培技術体系の改善を目指します。また、特定の実需者(製粉会社等)との品質取引の推進を図ります。また、認定農業者が一定規模以上の作付をした際に支援をし、麦の生産の拡大を図っていきます。

大豆は、ナカセンナリを中心に作付け規模の拡大と品質の確保を図り、市内農産物加工施設の需要に対応した生産量が確保できるよう推進します。特に北御牧地域については、大豆加工品として優良な特産品の製造団体も存在するため、特産品の安定供給を目指します。また、大規模農家にあつては、市外業者等の販路が確立しているためさらなる作付拡大を目指します。また、大豆を市内の農産物加工施設等へ出荷・販売したり、認定農業者が一定規模以上の作付をした際に支援をし、大豆の生産の拡大を図ります。

飼料作物については、自給農家が主であり大幅な面積の増加は見込めないため、現状面積の維持を目指します。

あわせて、中山間地の生産効率向上のため二毛作を推進します。

(5) そば、なたね

地域内の加工業者、加工組合等と連携した地域内加工・消費の拡大を目指します。また、認定農業者が一定規模以上の作付をした際に支援をし、そばの生産の拡大を図っていきます。

(6) 地力増進作物

—

(7) 高収益作物

当該地域においては、日照時間が長いなどの気候を活かした野菜の栽培が盛んであり、特にブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーンについては需要も高いことから今後も水田を有効に活用するために産地交付金を活用しつつ、ブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーン等の地域振興作物として生産の拡大を目指します。あわせて、中山間地の生産効率向上のため二毛作を推進します。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	689.9		688.9		654.5	
備蓄米	0.0		0.0		0.0	
飼料用米	3.1		3.2		4.2	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	36.6		37.6		48.9	
WCS用稲	2.4		2.6		4.8	
加工用米	13.6		13.8		17.7	
麦	6.4		7.0		7.7	
大豆	7.7	4.9	8.5	5.8	10.0	6.4
飼料作物	3.2		3.5		3.8	
・子実用とうもろこし	0.0		0.5		2.0	
そば	3.1		3.4		3.7	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.0		0.0		0.0	
高収益作物	18.7		20.5		22.2	
・野菜	15.8		17.4		19.0	
・花き・花木	2.1		2.3		2.4	
・果樹	0.7		0.8		0.8	
・その他の高収益作物	0.0		0.0		0.0	
その他	0.0		0.0		0.0	
畑地化	0.0		3.5		10.5	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米・加工用米 （基幹作物として生産されるものに限る）	生産性・品質向上等に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 16.6ha	(R6年度) 22.5ha (R7年度) 23.0ha (R8年度) 23.5ha
2	WCS用稲 （基幹作物として生産されるものに限る）	生産性・品質向上等に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 2.3ha	(R6年度) 3.6ha (R7年度) 4.2ha (R8年度) 4.8ha
3	麦、大豆、そば （基幹作物として生産されるものに限る）	担い手に対する助成	実施面積 (ha) 及び 認定農業者平均水田面積 (ha)	(R5年度) 9.2ha (R5年度) 10.8ha	(R6年度) 20ha (R7年度) 21ha (R8年度) 22ha (R6年度) 11ha (R7年度) 12ha (R8年度) 13ha
4	ブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーン （基幹作物として生産されるものに限る）	地域振興作物に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 9.4ha	(R6年度) 12.0ha (R7年度) 12.5ha (R8年度) 13.0ha
5	野菜類、花き類、果樹 （新植に限る） （基幹作物として生産されるものに限る） （ブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーンを除く）	野菜、花き等に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 6.4ha	(R6年度) 9.5ha (R7年度) 10.0ha (R8年度) 10.5ha
6	大豆 （基幹作物として生産されるものに限る）	地産地消推進品目に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 4.1ha	(R6年度) 6.0ha (R7年度) 6.5ha (R8年度) 7.0ha
7	戦略作物および東御市作物リストにある作物（主食用米及び戦略作物の後作）	二毛作に対する助成	実施面積 (a) 及び 対象面積割合 (%)	(R5年度) 257a (R5年度) 38.0%	(R6年度) 1,200a (R7年度) 1,200a (R8年度) 1,200a (R6年度) 40.0% (R7年度) 42.0% (R8年度) 44.0%
8	新市場開拓用米（基幹）	新市場開拓米の生産性・品質向上等に対する助成	実施面積 (ha)	(R5年度) 36.5ha	(R6年度) 38.0ha (R7年度) 43.4ha (R8年度) 48.9ha
9	新市場開拓米 （基幹・複数年契約）	新市場開拓米の複数年契約（地域の取り組みに応じた配分）	支払い対象面積 (ha)	(R5年度) 0ha	(R6年度) 10.0ha (R7年度) 12.0ha (R8年度) 14.0ha
10	そば（基幹）	そば（地域の取り組みに応じた配分）	支払い対象面積 (ha)	(R5年度) 3.1ha	(R6年度) 5.2ha (R7年度) 5.5ha (R8年度) 6.0ha
11	新市場開拓用米（基幹）	新市場開拓米（地域の取り組みに応じた配分）	支払い対象面積 (ha)	(R5年度) 0.0ha	(R6年度) 10.0ha (R7年度) 10.0ha (R8年度) 10.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:東御市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	生産性・品質向上等に対する助成	1	14,500	飼料用米・加工用米 (基幹作物として生産されるものに限る)	下記①～⑤から1つ以上を行うこと。 ①温湯消毒、②微生物農薬(777ロック又はエコホープ)による種子消毒、③土壌診断を活用した高度施肥管理、④堆肥(市内の畜産農家が生産するもの)の利用、⑤疎植栽培(株間22cm以上、10a当たり苗箱16～18枚)
2	生産性・品質向上等に対する助成	1	11,000	WCS用稲 (基幹作物として生産されるものに限る)	下記①～④から1つ以上を行うこと。また、①②については、当該取組を行った苗を購入した場合も含む。 ①温湯消毒、②微生物農薬(777ロック又はエコホープ)による種子消毒、③土壌診断を活用した高度施肥管理、④堆肥(市内の畜産農家が生産するもの)の利用
3	担い手に対する助成	1	11,000	麦、大豆、そば (基幹作物として生産されるものに限る)	水田において50a以上作付けた対象作物があること。
4	地域振興作物に対する助成	1	16,000	ブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーン(基幹作物として生産されるものに限る)	実需者等に出荷・販売することを目的として生産された交付対象作物であること。
5	野菜、花き等に対する助成	1	10,000	野菜類、花き類、果樹(新植に限る) (基幹作物として生産されるものに限る)(ブロッコリー、アスパラガス、キュウリ、スイートコーンを除く)	実需者等に出荷・販売することを目的として生産された野菜類、果樹、花き類であること。
6	地産地消推進品目に対する助成	1	7,500	大豆 (基幹作物として生産されるものに限る)	実需者等に出荷・販売することを目的として生産されたものであること。
7	二毛作に対する助成	2	10,000	戦略作物および東御市作物リストにある作物及びそば(主食用米及び戦略作物の後作)	実需者等に出荷・販売することを目的として生産される戦略作物および東御市作物リストにある作物であり、同じ場所の交付対象農地に、異なった種類の作物及び時期に作付けた作物であること。
8	新市場開拓米の生産性・品質向上等に対する助成	1	4,500	新市場開拓用米(基幹)	経営所得安定対策等実施要綱別紙13の3の(2)の地域の取組に応じた配分額の算定手順のうち新市場開拓用米の取組に係る手続きを行っており、生産性向上のための課題に対する取組として、別紙の取組のうち1つ以上に取り組むこと。
9	新市場開拓米の複数年契約(地域の取り組みに応じた配分)	1	10,000	新市場開拓用米(基幹・複数年契約)	新市場開拓用米の作付けに当たって、別要件を全て満たしており当年産から3年以上の複数年契約の販売契約を締結していること。
10	そば(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	そば(基幹)	経営所得安定対策等実施要綱別紙13の3の(2)の地域の取組に応じた配分額の算定手順のうちそばの取組に係る手続きが行われており、農協等と実需者との間で締結された販売契約に基づく出荷契約又は実需者等との販売契約を締結していること。
11	新市場開拓米(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	新市場開拓用米(基幹)	経営所得安定対策等実施要綱別紙13の3の(2)の地域の取組に応じた配分額の算定手順のうち新市場開拓用米の取組に係る手続きが行われていること。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作物を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作物を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

219	野菜	アスパラガス	アスパラガス	200
219	野菜	ブロッコリー	ブロッコリー	201
219	野菜	加工用トマト	カコヨウトマト	202
219	野菜	きゅうり	キュウリ	203
219	野菜	トマト	トマト	204
219	野菜	なす	ナス	205
219	野菜	ピーマン	ピーマン	206
219	野菜	かぼちゃ	カボチャ	207
219	野菜	イチゴ	イチゴ	208
219	野菜	スイカ	スイカ	209
219	野菜	メロン	メロン	210
219	野菜	キャベツ	キャベツ	211
219	野菜	はくさい	ハクサイ	212
219	野菜	ほうれんそう	ホウレンソウ	213
219	野菜	ねぎ	ネギ	214
219	野菜	たまねぎ	タマネギ	215
219	野菜	レタス	レタス	216
219	野菜	だいこん	ダイコン	217
219	野菜	にんじん	ニンジン	218
219	野菜	さといも	サトイモ	219
219	野菜	れんこん	レンコン	220
219	野菜	しょうが	ショウガ	221
219	野菜	じゃがいも	ジャガイモ	222
219	野菜	エンダイブ	エンダイブ	223
219	野菜	カリフラワー	カリフラワー	224
219	野菜	ケール	ケール	225
219	野菜	小松菜	コマツナ	226
219	野菜	山東菜	サントウナ	227
219	野菜	春菊	シュンギク	228
219	野菜	セルリー	セルリー	229
219	野菜	タアサイ	タアサイ	230
219	野菜	チンゲンサイ	チンゲンサイ	231
219	野菜	つけ菜類	ツケナルイ	232
219	野菜	野沢菜	ノザワナ	233
219	野菜	パセリ	パセリ	234
219	野菜	みずな	ミスナ	235
219	野菜	モロヘイヤ	モロヘイヤ	236
219	野菜	オクラ	オクラ	237
219	野菜	金糸瓜	キンシウリ	238
219	野菜	ゴーヤ	ゴーヤ	239
219	野菜	白ウリ	シロウリ	240
219	野菜	スイートコーン	スイートコーン	241
219	野菜	ズッキーニ	ズッキーニ	242
219	野菜	トウガン	トウガン	243
219	野菜	ホンウリ	ホンウリ	244
219	野菜	ゆうがお	ユウガオ	245
219	野菜	かぶ	カブ	246
219	野菜	菊芋	キクイモ	247
219	野菜	ごぼう	ゴボウ	248
219	野菜	さつまいも	サツマイモ	249
219	野菜	とうのいも	トウノイモ	250

219	野菜	ながいも	ナガイモ	251
219	野菜	みょうが	ミョウガ	252
219	野菜	やまいも	ヤマイモ	253
219	野菜	ヤーコン	ヤーコン	254
219	野菜	かんしょ	カンショ	255
219	野菜	やまごぼう	ヤマゴボウ	256
219	野菜	ささげ	ササゲ	257
219	野菜	ししとう	シシトウ	258
219	野菜	しそ	シソ	259
219	野菜	セリ	セリ	260
219	野菜	とうがらし	トウガラシ	261
219	野菜	にら	ニラ	262
219	野菜	えだまめ	エダマメ	263
219	野菜	らっきょう	ラッキョウ	264
219	野菜	にんにく	ニンニク	265
219	野菜	ハーブ類	ハーブ類	266
219	野菜	きのこ類	キノコ類	267
219	野菜	うど	ウド	268
219	野菜	行者ニンニク	キョウジャニンニク	269
219	野菜	ふき	フキ	270
219	野菜	ワラビ	ワラビ	271
219	野菜	ウドブキ	ウドブキ	272
219	野菜	コゴミ	コゴミ	273
219	野菜	ルバーブ	ルバーブ	274
219	野菜	おかひじき	オカヒジキ	275
219	野菜	青とうがらし	アオトウガラシ	276
219	野菜	ほおずき	ホオズキ	277
219	野菜	パプリカ	パプリカ	278
219	野菜	その他野菜	ソノタヤサイ	399
219	果樹	りんご	リンゴ	400
219	果樹	日本なし	ニホンナシ	401
219	果樹	西洋なし	セイヨウナシ	402
219	果樹	もも	モモ	403
219	果樹	うめ	ウメ	404
219	果樹	柿	カキ	405
219	果樹	くり	クリ	406
219	果樹	いちじく	イチジク	407
219	果樹	キウイフルーツ	キウイフルーツ	408
219	果樹	あんず	アンズ	409
219	果樹	木イチゴ	キイチゴ	410
219	果樹	銀杏	ギンナン	411
219	果樹	クルミ	クルミ	412
219	果樹	すもも	スモモ	413
219	果樹	ソルダム	ソルダム	414
219	果樹	びわ	ビワ	415
219	果樹	ベリー類	ベリー類	416
219	果樹	ブルーン	ブルーン	417
219	果樹	やまぶどう	ヤマブドウ	418
219	果樹	マルメロ	マルメロ	419
219	果樹	ぶどう	ブドウ	420
219	果樹	さくらんぼ	サクランボ	421
219	果樹	さるなし	サルナシ	422
219	果樹	その他果樹	ソノタカジュ	499

219	花き・花木	アジサイ	アジサイ	500
219	花き・花木	イチイ	イチイ	501
219	花き・花木	ウメモドキ	ウメモドキ	502
219	花き・花木	桜	サクラ	503
219	花き・花木	シンフォリカルボス	シンフォリカルボス	504
219	花き・花木	スモークツリー	スモークツリー	505
219	花き・花木	セツカヤナギ	セツカヤナギ	506
219	花き・花木	ツルウメモドキ	ツルウメモドキ	507
219	花き・花木	南天	ナンテン	508
219	花き・花木	ビブルナム	ビブルナム	509
219	花き・花木	ヒペリカム	ヒペリカム	510
219	花き・花木	ボケ	ボケ	511
219	花き・花木	紫式部	ムラサキシキブ	512
219	花き・花木	ユーカリ	ユーカリ	513
219	花き・花木	レンギョウ	レンギョウ	514
219	花き・花木	アザミ	アザミ	515
219	花き・花木	アスター	アスター	516
219	花き・花木	アーティチョーク	アーティチョーク	517
219	花き・花木	アネモネ	アネモネ	518
219	花き・花木	アリウム	アリウム	519
219	花き・花木	アルストロメリア	アルストロメリア	520
219	花き・花木	アヤメ	アヤメ	521
219	花き・花木	イブニングスター	イブニングスター	522
219	花き・花木	エキナセア	エキナセア	523
219	花き・花木	エキノプス	エキノプス	524
219	花き・花木	エリンジウム	エリンジウム	525
219	花き・花木	オダマキ	オダマキ	526
219	花き・花木	オーニソガラム	オーニソガラム	527
219	花き・花木	おみなえし	オミナエシ	528
219	花き・花木	貝細工	カイザイク	529
219	花き・花木	カキツバタ	カキツバタ	530
219	花き・花木	かすみ草	カスミ草	531
219	花き・花木	カーネーション	カーネーション	532
219	花き・花木	ケイカ	ケイカ	533
219	花き・花木	カラー	カラー	534
219	花き・花木	観賞用唐辛子	カンショウヨウトウガらし	535
219	花き・花木	カンパニュラ	カンパニユラ	536
219	花き・花木	キキョウ	キキョウ	537
219	花き・花木	キク	キク	538
219	花き・花木	金魚草	キンギョソウ	539
219	花き・花木	クジャクソウ	クジャクソウ	540
219	花き・花木	グラジオラス	グラジオラス	541
219	花き・花木	クリスマスローズ	クリスマスローズ	542
219	花き・花木	ケイトウ	ケイトウ	543
219	花き・花木	コスモス	コスモス	544
219	花き・花木	ササリンドウ	ササリンドウ	545
219	花き・花木	サマーチェリー	サマーチェリー	546
219	花き・花木	サンダーソニア	サンダーソニア	547
219	花き・花木	シクラメン	シクラメン	548
219	花き・花木	ジギタリス	ジギタリス	549
219	花き・花木	秋明菊	シュウメイギク	550
219	花き・花木	女郎花	オミナエシ	551
219	花き・花木	スイセン	スイセン	552

219	花き・花木	スイートピー	スイートピー	553
219	花き・花木	スカビオサ	スカビオサ	554
219	花き・花木	スターチス	スターチス	555
219	花き・花木	ストック	ストック	556
219	花き・花木	スモークグラス	スモークグラス	557
219	花き・花木	セロシヤ	セロシヤ	558
219	花き・花木	千日紅	センニチコウ	559
219	花き・花木	ソリダコ	ソリダコ	560
219	花き・花木	ソリダスター	ソリダスター	561
219	花き・花木	ダイアンサス	ダイアンサス	562
219	花き・花木	ダリア	ダリア	563
219	花き・花木	チーゼル	チーゼル	564
219	花き・花木	チューリップ	チューリップ	565
219	花き・花木	デルフィニウム	デルフィニウム	566
219	花き・花木	トルコギキョウ	トルコギキョウ	567
219	花き・花木	ナデシコ	ナデシコ	568
219	花き・花木	バラ	ハラ	569
219	花き・花木	ひまわり	ヒマワリ	570
219	花き・花木	姫ひまわり	ヒメヒマワリ	571
219	花き・花木	ヒメユリ	ヒメユリ	572
219	花き・花木	日扇	ヒオウキ	573
219	花き・花木	風船とうわた	フウセントウワタ	574
219	花き・花木	フサスグリ	フサスグリ	575
219	花き・花木	ブプレウラム	ブプレウラム	576
219	花き・花木	フリージア	フリージア	577
219	花き・花木	ベビーコーン	ベビーコーン	578
219	花き・花木	ベニバナ	ベニバナ	579
219	花き・花木	ヘリクリサム	ヘリクリサム	580
219	花き・花木	ヘレニューム	ヘレニューム	581
219	花き・花木	弁慶草	ベンケイソウ	582
219	花き・花木	ほうき草	ホウキグサ	583
219	花き・花木	ほおずき	ホオズキ	584
219	花き・花木	ホトギス	ホトギス	585
219	花き・花木	マトリカリア	マトリカリア	586
219	花き・花木	マリーゴールド	マリーゴールド	587
219	花き・花木	ミシマサイコ	ミシマサイコ	588
219	花き・花木	メジューム	メジューム	589
219	花き・花木	モルセラ	モルセラ	590
219	花き・花木	矢車草	ヤグルマソウ	591
219	花き・花木	ユリ	ユリ	592
219	花き・花木	ラークスパー	ラークスパー	593
219	花き・花木	ラベンダー	ラベンダー	594
219	花き・花木	ラナンキュラス	ラナンキュラス	595
219	花き・花木	リアトリス	リアトリス	596
219	花き・花木	リオン	リオン	597
219	花き・花木	リンドウ	リンドウ	598
219	花き・花木	ルドベキア	ルドベキア	599
219	花き・花木	ルピナス	ルピナス	600
219	花き・花木	レースフラワー	レースフラワー	601
219	花き・花木	れんげ	レンゲ	602
219	花き・花木	ワレモコウ	ワレモコウ	603
219	花き・花木	はす	ハス	604
219	花き・花木	葉の花	ナハナ	605

219	花き・花木	ラン	ラン	606
219	花き・花木	アンゲロニア	アンゲロニア	607
219	花き・花木	トレニア	トレニア	608
219	花き・花木	ネメシア	ネメシア	609
219	花き・花木	パンジー	パンジー	610
219	花き・花木	ペチュニア	ペチュニア	611
219	花き・花木	しゃくやく	シャクヤク	612
219	花き・花木	その他花き・花木	ソノタカキカボク	649
219	野菜	アマランサス	アマランサス	800
219	野菜	あわ	アワ	801
219	野菜	きび	キビ	802
219	野菜	ひえ	ヒエ	803
219	野菜	はとむぎ	ハトムギ	804
219	野菜	その他雑穀	ソノタガッコク	819
219	野菜	小豆	アズキ	820
219	野菜	落花生	ラッカセイ	821
219	野菜	インゲン	インゲン	822
219	野菜	エンドウ豆	エンドウマメ	823
219	野菜	そらまめ	ソラマメ	824
219	野菜	花豆	ハナマメ	825
219	花き・花木	花木(種)	カボク(タネ)	827
219	野菜	キャベツ(種)	キャベツ(タネ)	828
219	花き・花木	山林植栽用(種)	サンリンシヨクサイヨウ(タネ)	829
219	野菜	しそ(種)	シソ(タネ)	830
219	野菜	たまねぎ(種)	タマネギ(タネ)	831
219	野菜	トマト(種)	トマト(タネ)	832
219	花き・花木	バラ(種)	バラ(タネ)	833
219	果樹	りんご(種)	リンゴ(タネ)	834
219	野菜	その他野菜苗(種)	ソノタヤサイチエ(タネ)	835
219	野菜	えごま	エゴマ	836
219	野菜	くわい	クワイ	837
219	野菜	ごま	ゴマ	838
219	野菜	マコモダケ	マコモダケ	839
219	花き・花木	たばこ(葉たばこ)	タバコ(ハタバコ)	840
219	野菜	こんにゃく	コンニャク	841
219	花き・花木	芝生	シバフ	842
219	野菜	陸ワサビ	リクワサビ	843
219	花き・花木	蜜源れんげ	ミツゲンレンゲ	844
219	花き・花木	採油用ひまわり	サイユウヒマワリ	845
219	野菜	センブリ	センブリ	846
219	野菜	とうき	トウキ	847
219	野菜	薬用人参	ヤクヨウシニンジン	848
219	花き・花木	ホップ	ホップ	849
219	野菜	タラの芽	タラノメ	850
219	野菜	豆類その他	マメルイソノタ	851
219	花き・花木	香料作物	コウリョウサクモツ	852
219	花き・花木	甘茶	アマチャ	853
219	野菜	ゴミシ	ゴミシ	861
219	野菜	てんさい	テンサイ	948
219	野菜	でん粉原料用ばれいしょ	デンブツゲンリョウヨクバレイショ	949

(別紙1)

整理番号8に係る生産性向上のための取組

取組内容	備考
不耕起田植技術	【確認方法】 作業日誌
排水対策 (明暗きょ排水の整備、心土破碎)	【確認方法】 作業日誌
育苗・移植作業の省力化 (直は栽培、乳苗移植、プール育苗、密苗栽培、疎植栽培)	【確認方法】 作業日誌
土づくり (堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用)	【確認方法】 作業日誌及び土壌診断結果通知書又は 肥料購入伝票
肥料の低コスト化、省力化 (土壌分析・生育診断を踏まえた施肥、流し込み施肥、側条施肥)	【確認方法】 作業日誌及び土壌診断結果通知書又は 肥料購入伝票
農薬の低コスト化、省力化 (種子の温湯消毒、農薬の苗箱播種同時処理、農薬の田植同時 処理、共同防除)	【確認方法】 作業日誌及び農薬の購入伝票
立毛乾燥	【確認方法】 作業日誌
担い手が行う取組	農地中間管理機構の借受者、認定農業 者、認定新規就農者、集落営農、人・農地 プランに位置付けられた地域の中心となる 経営体 【確認方法】 営農計画書及び農業経営改善計画の認 定書、青年等就農計画の認定書、経営所 得安定対策への加入を希望する集落営農 の一覧、人・農地プラン、担い手リストのい ずれか
集積・団地化	5ha以上の団地化が対象 【確認方法】 営農計画書及び農地の位置関係がわかる 図面
施設・機械の共同利用	【確認方法】 作業日誌又は機械利用簿
収穫・流通体制の改善 (フレコン・バラ出荷、オペレータやコントラクタ等への作業委託)	【確認方法】 作業日誌及び出荷伝票又は作業委託契 約書のいずれかの写し